

# 第 45 回コンピュータ会計能力検定試験 問題用紙

## 2 級

(令和 4 年 12 月 10 日施行)

**問題用紙は回収します。持ち帰り厳禁です。**

CD-ROMは持ち帰りできます。

解答用紙は、問題用紙にはさみ込んでありますので、試験担当者の指示にしたがって、  
ていねいに取りはずしてください。

### 注 意

- ・試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- ・この試験問題は、全部で 15 ページです。
- ・この試験の制限時間は 1 時間 30 分です。
- ・解答は、問題の指示にしたがい、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
- ・解答用紙の所定の位置に、試験会場、氏名、受験番号を必ず記入してください。  
記入もれがある場合には採点の対象とならない場合があります。
- ・印刷の汚れや乱丁、パソコン機器の不具合等で必要のある場合は手をあげて試験担当者に合図をしてください。
- ・試験開始後、第 2 問は、CD-ROM に保存されている「東海電子販売株式会社」の会計データを、第 3 問は、同じく「東北電業株式会社」の会計データを、パソコンにリストアしてから処理をおこなってください。
- ・会計ソフト以外のソフトウェア（表計算等）や電卓などの使用も認めます。

主 催 公益社団法人 全国経理教育協会  
後 援 文 部 科 学 省

# コンピュータ会計の知識

**第1問** 次の各文章において【 】に入るべき数字・字句、または【 】内の字句のうち正しいものを、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。(10点)

- (1) 導入処理（準備処理）の消費税設定において、課税期間の課税売上高が【 】万円を超える企業が選択すべき課税方式は、本則課税方式（一般課税方式）である。
- (2) 財務会計システムは、会計取引を振替伝票画面や現金出納帳画面などから入力し、仕訳帳や総勘定元帳などの会計帳簿、貸借対照表・損益計算書などの財務諸表を出力することを主目的とする情報システムである。このシステムをわが国の企業では、【 特別会計システム・管理会計システム・一般会計システム・財務経理システム 】と呼ぶことが多い。
- (3) 卸売業Y社は、市販会計ソフトの導入設定段階で、すべての勘定科目に部門として「東京本社」、「山梨営業所」、「長野営業所」の三つを設定した。Y社は商品の仕入を東京本社で一括しておこない、営業所の商品在庫量に応じて東京本社から各営業所に商品を適宜発送している。Y社は部門別損益計算書を出力しているが、各営業所の売上原価の算定は東京本社からの商品発送原価にもとづいており、決算時に期中の発送原価総額を各営業所の仕入高勘定に振り替えている。当期の発送原価総額は山梨営業所に6,000,000円、長野営業所に4,000,000円であった。決算時の発送原価の振替仕訳のうち4,000,000円を計上する際、借方側に入力すべき部門は【 】である。
- (4) 上記(3)と同じ条件のもとで、決算時に山梨営業所に発送原価を振り替える際、貸方側に入力すべき部門は【 】である。
- (5) 小売業A社の会計期間は4月1日～3月31日で、月次決算をおこなっている。X0年4月1日の商品在庫額が400,000円、X0年4月30日の商品在庫額が600,000円、X0年5月31日の商品在庫額が500,000円、X0年6月30日の商品在庫額が400,000円とわかっている。X0年6月の月次決算時に売上原価を自動計算するための仕訳で期末商品棚卸高勘定の借方に入力すべき金額は【 】円である。

# 会計処理

**第2問** 東海電子販売株式会社の会計データを入力し、年次決算をおこなって、解答用紙に示した貸借対照表と損益計算書の各科目の金額を求めなさい。(50点)

東海電子販売株式会社は、2022年3月から会計ソフトによる処理を導入している。期首(2021年4月1日)から導入する前月(2022年2月)までの会計データ、および3月25日より前までの3月分の会計データは、入力処理済みである。

3月25日以降の会計データと決算資料(9ページから11ページ)にもとづいて、必要な会計処理をおこないなさい。なお、決算資料の中のXX円となっている金額は、各自が計算・判断すること。

<付記事項>

- (1) 会計期間は毎年4月1日から翌年3月31日までである。
- (2) 事業内容は、電子機器部品の卸売業である。
- (3) 取引先および取引条件等は次の表のとおりである。

得意先	なごや工業(株)	たじみ工業(株)	しずおか工業(株)
売上計上日	検収書受領日	検収書受領日	検収書受領日
回収条件	月末締め・翌月末払い	月末締め・翌々月10日払い	月末締め・翌々月20日払い
回収方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

仕入先	ミシマ電子(株)	トヨタ電子(株)	オオガキ電子(株)
仕入計上日	納入検収日	納入検収日	納入検収日
支払条件	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い
支払方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

- (4) 入力にあたっては、入力済みのデータも参照すること。
- (5) 勘定科目および補助科目の新規設定はおこなわないこと。
- (6) 消費税処理の設定は税抜経理方式・内税入力であるが、「売上高」と「仕入高」は外税入力の設定としている。

この問題は、CD-ROMに保存されている「東海電子販売株式会社」の会計データをパソコンにリストアしてから処理をおこなってください。



3月28日(月)

① 振込依頼書作成

総合振込依頼書									
尾張銀行 殿					取組指定日		2022年3月31日		
フリガナ		トウカイデンシハンバイカブシキガイシャ			東海電子販売株式会社 様		枚中/枚目 1 / 1		
ご依頼人名		ご連絡先電話番号			33 - 123 - 4567				
送信番号	銀行	支店	預金種目	口座番号	振込先	金額	電信指定	手数料	照査印発行印
	岡崎	中央	普通	0111333	浜松産業(株)	55,000		440	
	瑞穂	本店	普通	0123123	磐田興業(株)	88,000		440	
	掛川	港町	普通	0345678	愛知不動産(株)	198,000		440	
	熱田	中町	普通	0123123	ギフ運送(株)	396,000		440	
			普通						
					小計	737,000	小計	1,760	
					合計	737,000	合計	1,760	

(注) 浜松産業(株)は駐車場使用料, 磐田興業(株)は倉庫家賃, 愛知不動産(株)は事務所家賃, ギフ運送(株)は運送費の支払先である。

② 得意先から届いた振込通知書

2022年3月28日	
振込通知書	
東海電子販売株式会社 様	
なごや工業株式会社	
締切日 2022年2月28日	
購入金額合計 ○件 4,400,000円	
(2月1日~2月28日)	
(振込日: 2022年3月31日)	

③ 本日の商品売買状況

<b>売 上 伝 票</b>		納品書 (控)				
売上日 2022年3月28日 東京都豊島区北大塚9-99-1						
たじみ工業株式会社	御中	東海電子販売株式会社 TEL 33-123-4567 FAX 33-123-4577				
商品コード/商品名	数量	単位	単 価	金 額	備 考	
K-30	1,000			2,600,000円		
A-40	1,200			3,360,000円		
	税抜額	5,960,000円	消費税額	596,000円	合 計	6,556,000円

④ 借入金の詳細

お借入金ご返済予定表					尾張銀行		
ご 融 資 日	最 終 期 日	ご返済回数	ご 融 資 額	うち増額返済分ご融資額			
**年**月**日	**年**月**日	** 回	*****円	円			
金 利 変 更 日	変 更 後 の 利 率	変更後の毎月のご返済	変更後の増額返済併用月ご返済額 (うち増額返済額)				
年 月 日	年 %	円	円				
ご返済期日 (年月日)	回数 回	ご 返 済 内 訳			ご返済後融資残高 (うち増額分ご融資残高) 円	未払利息発生額 円	未払利息残高 円
		ご返済元金 円	お支払利息 円	未 払 利 息 円			
2022. 2. 28	22	180,000	36,607		17,040,000		
2022. 3. 28	23	180,000	35,395		16,860,000		
2022. 4. 28	24	180,000	34,180		16,680,000		



3月31日(木)

① 小口現金の補充

小口現金補充のため、普通預金 165,330 円を引き出した。

小口現金出納帳集計表	
2022年3月21日～31日	
科 目	税 込 金 額
福 利 厚 生 費	0 円
広 告 宣 伝 費	18,700 円
交 際 費	13,200 円
旅 費 交 通 費	15,400 円
通 信 費	13,750 円
消 耗 品 費	16,720 円
事 務 用 品 費	11,000 円
修 繕 費	16,500 円
車 両 費	48,400 円
租 税 公 課	0 円
雑 費	11,660 円
合 計	165,330 円

2022年3月31日  
出納係 印

② 精算

3月中に従業員に対して交通費の概算を手渡していた。本日すべての精算をおこない、残金 2,380 円を現金で受け取った。なお、精算した金額には、交通費(税込)以外に事務用品費 1,320 円(税込)と収入印紙代 4,000 円が含まれており、領収証を受け取った。

③ 普通預金通帳の記帳結果

普通預金						
	年-月-日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高	
1	2022. 3. 25	繰越残高			7,178,492	
2	2022. 3. 25	引出	2,400,000		4,778,492	
3	2022. 3. 25	電気	34,760		4,743,732	
4	2022. 3. 25	電話	35,860		4,707,872	
5	2022. 3. 28	水道	13,310		4,694,562	
6	2022. 3. 28	電話	60,280		4,634,282	
7	2022. 3. 28	振替	215,395		4,418,887	
8	2022. 3. 29	水道	13,420		4,405,467	
9	2022. 3. 29	電話	42,240		4,363,227	
10	2022. 3. 29	振替	93,500		4,269,727	
11	2022. 3. 29	振替	71,500		4,198,227	
12	2022. 3. 30	振替	92,000		4,106,227	
13	2022. 3. 30	引出	740,000		3,366,227	
14	2022. 3. 31	引出	165,330		3,200,897	
15	2022. 3. 31	振込		4,400,000	7,600,897	
16	2022. 3. 31	振替	55,000		7,545,897	
17	2022. 3. 31	振替	88,000		7,457,897	
18	2022. 3. 31	振替	198,000		7,259,897	
19	2022. 3. 31	振替	396,000		6,863,897	
20	2022. 3. 31	振込手数料	1,760		6,862,137	

(注) 2022. 3. 28 振替 215,395 円は尾張銀行への返済。

2022. 3. 29 振替 93,500 円は三河リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2022. 3. 29 振替 71,500 円は羽島リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2022. 3. 30 振替 92,000 円はスマツ損害保険への支払, 「保険料」勘定を使用する。

## 〔決算資料〕

(1) 残 高

① 現 金

手許現金残高	XXX, XXX 円
--------	------------

② 預 金

<u>残 高 証 明 書</u>	
東海電子販売株式会社 様	
2022年3月31日	
預金種類	残高
普通預金	6,862,137 円
定期預金	11,400,000 円
定期積金	8,800,000 円
2022年4月4日	
尾張銀行 豊島支店	

③ 売掛金

得意先への確認済み残高

2022年3月31日

なごや工業株式会社	1,925,000 円
たじみ工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
しずおか工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

④ 買掛金

仕入先への確認済み残高

2022年3月31日

ミシマ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
トヨタ電子株式会社	18,788,000 円
オオガキ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

⑤ 預り金

源泉所得税	XXX,XXX 円
住民税	82,100 円
社会保険料	X,XXX 円

⑥ 長期借入金

5 ページ借入金返済予定表参照

(2) 棚卸処理

商品棚卸表

2022年3月31日

種類	仕入単価	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	実地棚卸金額
T-10	1,300 円	300	290	XXX,XXX 円
O-20	1,400 円	200	200	280,000 円
K-30	1,700 円	100	100	170,000 円
A-40	1,900 円	300	300	570,000 円
I-55	2,400 円	300	300	XXX,XXX 円
合計				X,XXX,XXX 円

上記の棚卸表のとおり、実地棚卸の結果、T-10 が帳簿棚卸に対して 10 個不足していることが判明した。この不足分については、棚卸減耗として売上原価に含めることとする。

(3) 減価償却

次の固定資産台帳および減価償却明細表のデータにもとづいて、当期の減価償却費を計上する。

固定資産台帳・減価償却明細表

2021年4月1日～2022年3月31日

(金額単位：円)

種類	取得年月日	取得価額	償却方法	耐用年数	償却率	当期償却額
(車両運搬具)						
乗用車	2020年1月	3,200,000	定率法	6	0.333	651,585
乗用車	2021年2月	3,000,000	定率法	6	0.333	943,555
計		6,200,000				X,XXX,XXX
(備品)						
エアコン	2019年2月	280,000	定率法	6	0.333	39,179
応接セット	2019年2月	300,000	定率法	8	0.250	40,429
計		580,000				XX,XXX
合計		6,780,000				X,XXX,XXX

(4) その他

① 運送費

運送費は 10 日締めで月末払いとしており、締め日以降（3 月 11 日から 31 日まで）に発生した運送費について、「未払費用」勘定を利用して費用計上する。

3 月 11 日～31 日分の運送料計算書の合計額	684,200 円（税込金額）
---------------------------	-----------------

② 地代家賃

「地代家賃」勘定の補助元帳には、1 か月分の前払い分が含まれているため、それぞれ 13 か月分の家賃が計上されている。前払い分を「前払費用」勘定に振替処理する。

事 務 所	198,000 円（税込金額）
倉 庫	88,000 円（税込金額）
駐 車 場	55,000 円（税込金額）

③ 消費税等の計上

当期の確定消費税の金額は次のとおりである。

当期確定消費税額等	5,612,500 円
-----------	-------------

前年 11 月に支払った消費税の中間納付額との差額を「未払消費税等」勘定に計上する。消費税の中間納付額は、11 月の「仮払消費税等」勘定の借方に計上されている。

なお、「仮受消費税等」勘定と「仮払消費税等」勘定との振り替えにより生じる端数差額は、雑収入とする。この雑収入は、消費税課税対象外として処理する。

④ 法人税等の計上

当期の法人税，法人住民税，法人事業税，地方法人特別税が次の金額に確定した。

	確定法人税額等
法 人 税	521,600 円
法 人 都 民 税	293,600 円
法 人 事 業 税 ・ 特 別 税	151,200 円
合 計	XXX,XXX 円

前年 11 月に支払った法人税，法人住民税，法人事業税等の中間納付額との差額を、「未払法人税等」勘定に計上する。

なお，中間申告による納付額合計は，11 月の「仮払法人税等」勘定の借方に計上されている。

# 会計情報の活用

**第3問** 次の各文章において、【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(10)の解答欄に記入しなさい。東北電業株式会社に関する問題は、会計ソフトに組み込まれた機能を利用してえられた数値にもとづき解答すること。なお、金額以外の数字による解答については、求める表示形式上の小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記入すること。(20点)

## <経営分析>

- (1) 東北電業株式会社の決算を含む第4期末における売上高経常利益率は12月末残高によるもの比べて好転【ア. している。 イ. していない。】
- (2) 東北電業株式会社の第4期1月末残高における流動比率は【 】%である。
- (3) 東北電業株式会社の決算を含む第4期末における総資本売上回転率は【 】回である。
- (4) 東北電業株式会社の1月～3月の仕入高合計額は、10月～12月の合計額に比べて【 】円増加した。

## <損益分岐点分析>

- (5) 東北電業株式会社は、同社の損益計算書に計上される営業費用の固定費分解にあたって、売上原価項目と支払手数料については変動費比率100%、荷造運賃については固定費比率70%、旅費交通費については変動費比率40%、その他の営業費用については固定費比率100%としている。また、営業外収益・営業外費用・特別損益を構成する各項目は分析に用いない。第4期の上半期(4～9月)限界利益率は【 】%である。
- (6) 東北電業株式会社第4期のうち、損益分岐点比率からみて業績が悪いほうの月は【ア. 5月 イ. 11月】である。
- (7) 東北電業株式会社は第5期1年間について、決算仕訳を含まない利益(営業利益)を8,000,000円とする利益計画を策定することとした。第5期の固定費は第4期から5%増加し、変動費率は第4期と変わらない(ともに決算仕訳を含まない)として、第5期に獲得しなければならない売上高は【 】円と試算される。

## <予算管理>

- (8) 小売業X社の第3期会計年度の期末商品棚卸高実績は900,000円であった。第4期の予算編成にあたり、商品仕入高を3,900,000円、期末商品棚卸高を600,000円、売上高売上総利益率を30%と見積もったときの売上高予算は【 】円である。
- (9) 卸売業Y社の売上総利益は、予算・実績とも、東日本地域と西日本地域の地域別に管理されている。翌会計年度の売上高予算は、東日本地域が6,000,000円、西日本地域が8,000,000円である。また、予算上の売上原価率は東日本地域が60%、西日本地域が40%と見積もられている。この条件で、両地域を合わせた全社売上総利益予算は【 】円である。
- (10) 製造業Z社の製造間接費予算額は4,400,000円である。この予算期間において不利な予算差異400,000円が生じた。Z社のこの予算期間の製造間接費実際額は【 】円である。

**第4問** A社における7月の資料1の実績貸借対照表および実績損益計算書（14 ページ）から、資料2の実績資金繰り表および資料3の資金増減原因表（15 ページ）を作成し、下記の間1と間2に答えなさい。（20 点）

＜実績資金繰り表＞

**問1** 7月の資金繰り表について、次の文章中の【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。

- ・経常収入合計は、【 (1) 】円である。
- ・人件費支払は、【 (2) 】円である。
- ・経常収支過不足は、【 (3) 】円不足である。
- ・財務収支過不足は、【(4) ア. 過剰 イ. 不足】である。
- ・収支過不足合計は、【 (5) 】円不足である。

＜資金増減原因＞

**問2** 7月の資金増減原因について、次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(6)～(10)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・資金の増加原因を金額の大きい順に列挙すると、 ,  があげられる。
- ・資金の減少原因を金額の大きい順に列挙すると、 ,  ,  があげられる。

**語 群**

ア	買掛金の減少	イ	買掛金の増加	ウ	設備の処分	エ	設備の購入
オ	売掛金の増加	カ	利益の発生	キ	在庫の減少	ク	在庫の増加
ケ	損失の発生	コ	売掛金の減少	サ	借入金の返済	シ	借入金の増加

<資料1>

<A社>

7月の実績貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金・預金	4,825,200	21,962,000	23,044,400	3,742,800
売掛金	44,262,000	23,226,000	21,962,000	45,526,000
商品	2,657,000	2,416,000	2,657,000	2,416,000
備品	1,000,000	300,000		1,300,000
減価償却累計額	-72,000		24,000	-96,000
資産合計	52,672,200	47,904,000	47,687,400	52,888,800
買掛金	36,492,000	15,182,000	14,268,000	35,578,000
短期借入金	10,200,000	250,000		9,950,000
資本金	5,000,000			5,000,000
利益剰余金	980,200		1,380,600	2,360,800
負債・純資産合計	52,672,200	15,432,000	15,648,600	52,888,800

<A社>

7月の実績損益計算書

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	68,448,500		23,226,000	91,674,500
売上原価				
期首商品棚卸高				
当期商品仕入高	51,965,300	14,268,000		66,233,300
合計	51,965,300	14,268,000		66,233,300
期末商品棚卸高	2,657,000	2,657,000	2,416,000	2,416,000
売上原価	49,308,300	16,925,000	2,416,000	63,817,300
売上総利益	19,140,200		8,717,000	27,857,200
販売費一般管理費				
人件費	8,765,500	3,828,200		12,593,700
減価償却費	72,000	24,000		96,000
営業経費	9,262,400	3,462,600		12,725,000
販売費一般管理費計	18,099,900	7,314,800		25,414,700
営業利益	1,040,300		1,402,200	2,442,500
営業外費用				
支払利息	60,100	21,600		81,700
経常利益	980,200		1,380,600	2,360,800
当期純利益	980,200		1,380,600	2,360,800

(注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。

- ・売掛金の回収・買掛金の支払は、すべて預金口座への振込でおこなっている。
- ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金でおこなっている。
- ・備品は、現金で購入している。

<資料2>

<A社> 7月の実績資金繰り表

(単位：円)

資金繰り項目		7月
経 常 収 支	現金売上	
	売掛金回収	
	営業外収入	
	経常収入合計	
	現金仕入	
	買掛金支払	
	人件費支払	
	営業経費支払	
	営業外費用	
	経常支出合計	
	経常収支過不足	
設 備 等 収 支	設備等売却収入	
	設備等購入支出	
	設備等収支過不足	
財 務 収 支	借入金借入	
	借入金返済	
	財務収支過不足	
収支過不足合計		
月初現預金残高		
月末現預金残高		

<資料3>

<A社> 7月の資金増減原因表

(単位：円)

	資金増加	資金減少
損益の状況		
非資金費用		
売掛金の状況		
買掛金の状況		
在庫の状況		
設備等の状況		
借入金の状況		
合計		
資金の増減結果		

# 第45回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

## 2 級

(令和4年12月10日施行)

- この解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、  
ていねいに取りはずしてください。
- 解答は、すべて解答用紙の指定の位置に記入してくだ  
さい。



主 催 公益社団法人 全国経理教育協会  
後 援 文 部 科 学 省

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

# 第45回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

## 2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

### コンピュータ会計の知識

#### 第1問 (10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

### 会計情報の活用

#### 第3問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

## 第4問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

会計情報の活用

--

## 会計処理

## 第2問 (50点)

東海電子販売株式会社

貸借対照表 (2022年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	
(2)	売掛金 (しずおか工業(株)分)	
(3)	資 産 合 計	
(4)	買掛金 (オオガキ電子(株)分)	
(5)	未 払 消 費 税 等	

東海電子販売株式会社

損益計算書 (2021年4月1日  
~2022年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	
(2)	旅 費 交 通 費	
(3)	水 道 光 熱 費	
(4)	雑 収 入	
(5)	税 引 前 当 期 純 利 益	

会計処理

--

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

# 第45回コンピュータ会計能力検定試験 標準解答

## 2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

### コンピュータ会計の知識

第1問 (@ 2点 × 5 = 10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
5,000	一般会計システム	長野営業所	東京本社	500,000

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

### 会計情報の活用

第3問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ア	158.5	3.4	2,670,000	31.5
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ア	265,945,474	6,000,000	7,200,000	4,800,000

**第4問** (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
21,962,000	3,828,200	532,400	イ	1,082,400
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
力	キ	才	ア	工

会計情報の活用

## 会 計 処 理

**第2問** (@ 5点 × 10 = 50点)

東海電子販売株式会社

貸借対照表 (2022年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	314,680
(2)	売掛金 (しずおか工業(株)分)	26,147,000
(3)	資 産 合 計	79,785,656
(4)	買掛金 (オオガキ電子(株)分)	9,526,000
(5)	未 払 消 費 税 等	3,611,000

東海電子販売株式会社

損益計算書 (2021年4月1日 ~ 2022年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	81,215,500
(2)	旅 費 交 通 費	1,176,000
(3)	水 道 光 熱 費	1,130,900
(4)	雑 収 入	180
(5)	税 引 前 当 期 純 利 益	2,464,069

会計処理